

2017年度 一般社団法人 大曲青年会議所

まちづくり委員会 事業計画

点を線へ

まちづくり委員会

委員長 東海林 貴之

私たちの住む大仙郷は、豊かな自然と豊富な水資源に恵まれ、この地に沢山の命を育んできました。また大仙市は、日本でも有数の花火のまちとしてその名を全国に轟かせ、多くの人々を魅了しています。このような魅力溢れる私たちのまちも、昨今の少子化・人口流出・超高齢社会など、その将来には大きな不安を抱えております。今こそ私たちがこのまちに眠るたからを掘り起こし、活気に溢れる未来を創るべく行動しなければなりません。

まずは、私たち一人ひとりがこのまちの現状と未来を知り、まちが抱える様々な問題を共有してその解決策を探るために、地域の活性化に取り組む行政や各団体と密に連携して情報交換する場を企画します。そして、このまちの未来を創るネットワークを構築するために、このまちで活躍する様々な業種の青年たち、並びに各団体の人々が集い情報交換できる場を企画し、地域に眠る人材の交流を活性化させます。さらに、このまちの点と点が繋がってできたネットワークをより強固で確かなものにするために、情報交換を進めると同時に日頃の大曲青年会議所運動・活動への理解を拡げ、更なる会員拡大を目指します。また、大仙市に残る伝統文化の一つである残月花火を、次世代を担う子供たちに文化として伝承させるとともに、自分たちの住むこの地域に誇りと愛郷心を育むために、第11回全日本残月花火選手権大会を企画・開催します。そして、今日のLOM及び私たちの住む大仙郷を創り上げてこられた先輩諸兄や、日頃からお世話になっている地域住民の皆様へ感謝の気持ちを伝えるために、大曲青年会議所創立45周年記念事業を企画・実施します。

過去から現在、そして未来へと進んでいく時間の中で、ここで培われたネットワークは将来へ大きな力になります。まちを愛し、未来を語れる仲間が集い、地域の問題を共有することで点と点が繋がって線となり、明るい豊かな社会へ繋がる地域の「和」を築きます。

【事業計画】

1. 広域的・公益的な地域発展に関する事項
2. 全日本残月花火選手権大会の企画・実施
3. 地域の特色を活かした事業への積極的参加及び諸団体との連携
4. 創立45周年記念事業の企画・実施
5. 創立45周年キャラバンの実施
6. 会員拡大に関する事項